

「吐き捨てガム」撲滅大作戦

1. 「吐き捨てガム」(噛み捨てガム) 撲滅大作戦の問題意識とは

我が国は明治以来、西洋の生活様式を取り入れ、近代化を進めてきました。敗戦以降は規制を緩和し、経済優先のまちづくりを進めてきた結果、都市には緑がどんどん失われ、高さ形状が不揃いな建築物が街を覆い、空を遮る電線と看板、標識が雑然と掲げられ、どこでもかまわず自動販売機が置かれるなど日本のかつての美しさは消滅し、文化国と呼ぶのが恥ずかしくなるような状態となっています。

また、見苦しいのは建物や構造物だけではなく、ゴミの不法投棄、タバコの吸殻や投げ捨て、落書き、放置自転車等の惨憺たる光景は、人々の心の荒廃・社会的モラルの欠如、更には地域コミュニティ意識・公の場の在り方は、その認識の欠如の象徴でもあります。

タバコのポイ捨てなどは、企業の努力もあり、各行政においても景観まちづくり条例・神奈川県受動喫煙防止条例などで規制を強化し、その効果が現れてきております。

そのような中、我々が日常的に生活している街の足元にある、歩道や階段、点字ブロックそして道路に、おびただしい黒い斑点が見苦しいにも程があるほど、数多く存在します。

それはほとんど全て、「吐き捨てガム」の痕であり、我々の生活空間の美観・景観を阻害するだけではなく、近年の公共広告にもあるように、既に我が国では駆逐されたと皆が考えていた結核患者の増加や、昨今の新型インフルエンザの猛威など、細菌類が我々の生活や健康被害を脅かし、環境問題にとどまらず、公衆衛生に大きな課題・影響をもたらす、社会問題ではないかと考えております。

ガム製造・販売メーカーは、咀嚼による身体の健康・歯の健康・歯磨き効果・虫歯予防・リフレッシュ効果などを謳って、TV等で大々的に広告宣伝をしておりますが、本当に現状のままで良いのでしょうか？売りっ放しで、ポーズだけの免罪符としての微々たる活動のみ。

そこで私たちは、そういった生活環境の悪化を抑制し、当然まち美化活動としてタバコやゴミのポイ捨てと共に、世の中でまだその問題点に気付いていない人々に、「吐き捨てガム」の弊害を認識して戴き、ガム噛みマナーの向上と、次世代の為に清潔且つ安心・安全に暮らせるまちを取り戻すための活動。さらには健全な地域コミュニティの形成・活性化と今後のまちづくりのためにも、「吐き捨てガム」の除去活動を実施し、日本全国での各行政・企業・団体・個人の活動の推進・支援をしていきたいと考えております。

更にこれも既に大きな社会問題である、雇用対策の一環として、まち美化運動＝ガム取り清掃を加え、雇用の促進にもつながる意義ある活動であると確信をしております。

2. 活動経過

2009年7月より月平均4回程度、特定非営利活動法人環境まちづくりネットの皆さんと共に、東京都新宿区役所主催の歌舞伎町クリーン作戦活動の一環として、「吐き捨てガム」の除去活動を実践（主に新宿区内の歌舞伎町・新宿大通り沿い・御苑前）し、また世田谷区内で三軒茶屋商店街などの要請で、「吐き捨てガム」除去活動を実施して参りました。

更に、グリーンバードの皆さんと共に渋谷駅周辺から宮下公園までの活動にも参加し、当初はまちの美化・クリーン活動として参画して参りましたが、ボランティアの皆さんでも「吐き捨てガム公害」を知らないと言う実態に遭遇しました。上記の活動を通して、この問題は身近で、我々の健康に関わる公衆衛生の問題で有ると認識し、これは大きな社会問題でもあり、次世代のためにも、一緒に活動する人々との共通認識を図り、その高まりと、更に多くの方々の参画と問題意識の共有を図り、世に訴えて参りたいと願っております。

2010年 5月 7日

サスティナブル・コミュニティー・デザイナー
新樂 智夫 (オフィス アコール代表)